

# H A Fプロジェクト HAIBARA ACHIEVING FUTURES PROJECT

## 人材の還流

## 背景

少子高齢化と人口減少  
地場産業の衰退、観光客の減少  
外国人労働者の増加と地域社会の国際化

## 地域の現況

企業の生産拠点の集積  
充実したインフラ（高速道路、国際空港）  
行政機関、地元市民、地元企業の協力体制

地域社会を支える  
リーダーの育成

## 危機感の共有

## 榛高の役割

連携  
協力

## 研究開発の実施体制（コンソーシアム）

学校、教育委員会、学術機関（静岡大学教育学部、ふじのくに茶の都ミュージアム）行政機関（静岡県、牧之原市）、地元企業（矢崎部品、島田掛川信金ほか）、牧之原市民、地元小中学校などの協力体制構築

## 令和3年度の研究開発の基本方針 コロナ禍であっても生徒が自ら体験する場面をなくさない

新型コロナウイルス感染症の影響により中止・変更された事業

- ・シンガポール・マレーシア修学旅行
- ・国内外研修（台湾、ベトナム、沖縄）
- ・大学訪問（研究室訪問）・学校設定教科・科目研究の一部他

## 令和3年度の目標

## 取組状況

### 1 地域創造探究

学校設定教科の円滑実施

評価についての研究

来年度以降のシラバス作成

ファシリテーション・グラフィック研修、市長出前授業、企業人講話、地域課題出前授業、企業訪問、探究講演会、地域課題探究等実施、評価に関する研修、数値評価の実施

### 2 課外活動

コロナ禍における研修、地域リーダー育成プロジェクト等の充実

イングリッシュキャンプ（8月）、国内研修（12月：1年生南九州・2年生北海道）、地域リーダー育成事業（年間）等の実施

### 3 その他の活動

オンライン交流の効果的な実施  
連携協力校との連携のあり方研究

オンライン発表会参加（Glocal Hight School Meetings 2022 他）  
学校交流の実施（遠隔を含む）  
海外：台湾、オーストラリア 他  
国内：宮崎県立宮崎大宮高等学校、市立札幌開成中等教育学校、兵庫県立柏原高等学校

### 4 プロジェクトの今後

持続可能な事業実施の体制と内容の再構築

（県）オンリーワン・ハイスクール指定（R3～「地域と連携した学校設定科目の研究」）

## 成果と課題

### 地域創造探究

- ・学校設定教科「**地域創造探究**」がスタート、1年生が履修、数値評価の実施 ⇒評価の数値化によって、教員、生徒の意識が変化

### カリキュラム開発

- ・学校設定科目「**地域創造探究Ⅰ**」、**家庭科「家庭基礎探究**」（探究的科目）スタート ⇒教科として、評価の研究が進んだ
- ・海外研修の中止 ⇒海外研修を前提とした「**地域創造探究Ⅱ**」、「**地域創造探究Ⅲ**」及び「**発展地域創造探究**」のシラバス作成は停滞

### 課外活動

- ・イングリッシュキャンプの充実 ⇒実用英語検定2級以上合格者増
- ・海外研修の中止、**国内研修（南九州、北海道）**の実施 ⇒“ローカル”は充実、課題は“グローバル”

### コミュニティ・スクール

- ・**学校運営協議会**を設置 ⇒3回の会議開催

### その他

- ・**オンライン**による活動の充実 ⇒講座・交流・発表など様々な形で
- ・**連携校との交流**の実現 ⇒オンライン、研修先でのフィールドワーク
- ・校内における活動内容の普及と事業体制の整備（研修課、地域連携推進監、学年など） ⇒より充実した体制作り
- ・新型コロナウイルス感染症への対応による事業内容の変更、停滞 ⇒昨年度の実績、事業の見直しによる新しい発見

2022～ 学校のポリシーとして

継続（連携の継続・組織の継続）・自走・発展へ